

注3

大学番号：080

意見伺い

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

鹿児島大学大学院 教育学研究科  
学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）

注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人鹿児島大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育学部

職名・氏名 事務長代理 ノムラ ヒロシ 野村 浩史

電話番号 099-285-7711

（夜間） 099-285-7711

F A X 099-285-7721

e-mail edusyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

|                              | ページ |
|------------------------------|-----|
| 1 調査対象大学等の概要等 . . . . .      | 1   |
| 2 授業科目の概要 . . . . .          | 5   |
| 3 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .    | 9   |
| 4 AC対象学部等を含む大学等の状況 . . . . . | 10  |
| 5 教員組織の状況 . . . . .          | 15  |
| 6 留意事項等に対する履行状況等 . . . . .   | 23  |
| 7 その他全般的事項 . . . . .         | 25  |

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設 置 者

国立大学法人鹿児島大学

### (2) 大 学 名

鹿児島大学大学院

### (3) 大学の位置

〒890-0065

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

| 職 名  | 設 置 時                              | 変 更 状 況                               | 備 考                         |
|------|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| 学 長  | (マエダ ヨシサネ)<br>前田 芳實<br>(平成25年4月1日) |                                       |                             |
| 研究科長 | (ツチダ サトシ)<br>土田 理<br>(平成26年4月1日)   | カミタニ ジュンサブロウ<br>上谷 順三郎<br>(平成30年4月1日) | 任期満了による交代<br>平成30年4月1日 (30) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

| 調査対象研究科等の名称(学位)                                     | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 |      |      | 備考                   |
|-----------------------------------------------------|-----------|--------|------|------|----------------------|
|                                                     |           | 修業年限   | 入学定員 | 収容定員 |                      |
| 教育学研究科<br>学校教育実践高度化専攻<br>(専門職学位課程)<br><br>教職修士(専門職) | 教員養成関係    | 2年     | 16人  | 32人  | 基礎となる学部等<br><br>教育学部 |

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

| 区分             | 報告年度            |            | 平成28年度                    |                     | 平成29年度                    |                     | 平成30年度 |        | 平均入学定員<br>超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------|------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------|--------|--------|---------------|----|
|                | 春季入学            | その他の学期     | 春季入学                      | その他の学期              | 春季入学                      | その他の学期              | 春季入学   | その他の学期 |               |    |
| A 入学定員         | 人<br>( )<br>[ ] | 人          | 人<br>16<br>( - )<br>[ - ] | 人                   | 人<br>16<br>( - )<br>[ - ] | 人                   | 人      |        | 0.87倍         |    |
| 志願者数           | ( )<br>[ ]      | ( )<br>[ ] | 13<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] | 19<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |               |    |
| 受験者数           | ( )<br>[ ]      | ( )<br>[ ] | 13<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] | 19<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |               |    |
| 合格者数           | ( )<br>[ ]      | ( )<br>[ ] | 13<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] | 17<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |               |    |
| B 入学者数         | ( )<br>[ ]      | ( )<br>[ ] | 12<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] | 16<br>( 10 )<br>[ - ]     | -<br>( - )<br>[ - ] |        |        |               |    |
| 入学定員超過率<br>B/A |                 |            | 0.75                      |                     | 1.00                      |                     |        |        |               |    |

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、社会人の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

| 学 年  | 平成28年度             |                    | 平成29年度               |                     | 平成30年度               |                     | 備 考 |
|------|--------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|---------------------|-----|
|      | 春季入学               | その他の学期             | 春季入学                 | その他の学期              | 春季入学                 | その他の学期              |     |
| 1 年次 | [     ]<br>(     ) | [     ]<br>(     ) | 12<br>[ - ]<br>( - ) | -<br>[ - ]<br>( - ) | 16<br>[ - ]<br>( - ) | -<br>[ - ]<br>( - ) |     |
| 2 年次 |                    |                    | 0<br>[ - ]<br>( - )  | -<br>[ - ]<br>( - ) | 12<br>[ - ]<br>( - ) | -<br>[ - ]<br>( - ) |     |
| 3 年次 |                    |                    |                      |                     | -<br>[ - ]<br>( - )  | -<br>[ - ]<br>( - ) |     |
| 計    |                    |                    |                      |                     | 28<br>[ - ]<br>( - ) | -<br>[ - ]<br>( - ) |     |

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [     ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ (     )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分<br>対象年度 | 在学者数 (b) | 退学者数 (a) | 内訳     |      |                 | 主な退学理由 |
|------------|----------|----------|--------|------|-----------------|--------|
|            |          |          | 入学した年度 | 退学者数 | 退学者数の<br>うち留学生数 |        |
|            |          |          |        |      |                 |        |
| 平成27年度     | 人        | 人        | 平成27年度 | 人    | 人               |        |
| 平成28年度     | 人        | 人        | 平成27年度 | 人    | 人               |        |
|            |          |          | 平成28年度 | 人    | 人               |        |
| 平成29年度     | 12 人     | 0 人      | 平成27年度 | 人    | 人               |        |
|            |          |          | 平成28年度 | 人    | 人               |        |
|            |          |          | 平成29年度 | 0 人  | 0 人             |        |
| 平成30年度     | 28 人     | 0 人      | 平成27年度 | 人    | 人               |        |
|            |          |          | 平成28年度 | 人    | 人               |        |
|            |          |          | 平成29年度 | 0 人  | 0 人             |        |
|            |          |          | 平成30年度 | 0 人  | 0 人             |        |
| 合 計        | 40 人     | 0 人      |        |      |                 |        |

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）>

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称                                | 配当年次                | 単位数  |    |    | 専任教員等の配置 |     |    |    |    | 兼任・兼担 |
|------|----------------------------------------|---------------------|------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
|      |                                        |                     | 必修   | 選択 | 自由 | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 |       |
| 共通科目 | 【教育課程の編成・実施に関する領域】<br>学校を基盤とするカリキュラム開発 | 1前                  | 2    |    |    |          | 2   | 2  |    |    | 1     |
|      | 特色ある教育課程とそのデザイン                        | 1後                  | 2    |    |    |          | 3   | 3  |    |    |       |
|      | 【教科等の実践的な指導方法に関する領域】<br>授業研究の実践と課題     | 1前                  | 2    |    |    | 2        | 3   | 2  |    |    |       |
|      | 教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善             | 1前                  | 2    |    |    | 2        | 3   | 2  |    |    |       |
|      | 【生徒指導・教育相談に関する領域】<br>学校における生徒指導の実践と課題  | 2後                  | 2    |    |    | 1        | 1   | 2  |    |    |       |
|      | 教育相談の方法と実践                             | 2前                  | 2    |    |    | 1        | 1   | 2  |    |    |       |
|      | 【学級・学校経営に関する領域】<br>学級経営の実践と課題          | 1前                  | 2    |    |    | 2        | 1   | 6  |    |    |       |
|      | 自律的学校経営の理論と実践                          | 1前                  | 2    |    |    | 2        | 2   |    |    |    |       |
|      | 【学校教育と教員のあり方に関する領域】<br>学校教育の役割と教師の成長   | 1後                  | 2    |    |    | 1        | 1   |    |    |    |       |
|      | 鹿児島における学校教育と教員のあり方                     | 1通                  | 2    |    |    | 2        |     | 1  |    |    |       |
| 実習科目 | 高度化実践実習Ⅰ                               | 1前                  | 2    |    |    | 6        | 8   | 7  |    |    |       |
|      | 高度化実践実習Ⅱ                               | 2前                  | 2    |    |    | 6        | 8   | 7  |    |    |       |
|      | 重点領域実践実習Ⅰ                              | 1後                  | 1    |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      | 重点領域実践実習Ⅱ                              | 1後                  | 1    |    |    | 6        | 8   | 4  |    |    |       |
|      | 開発実践実習Ⅰ                                | 1後                  | 2    |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      | 開発実践実習ⅠⅡ                               | 2通                  | 4    |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
| 選択科目 | 分野共通<br>課題研究科目                         | 学校教育におけるデータ分析とその活用  | 1前   | 1  |    | 2        | 1   |    |    |    | 1     |
|      |                                        | 教職課題研究Ⅰ             | 1通   | 3  |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      |                                        | 教職課題研究Ⅱ             | 2通   | 3  |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      | 組織経営分野                                 | 学校安全と危機管理           | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | グループダイナミクスからみた学級経営  | 1・2後 | 2  |    | 1        |     | 2  |    |    |       |
|      |                                        | 学校づくりと教師            | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 校内研修のデザインとマネジメント    | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 学校経営と組織マネジメント       | 1・2前 | 2  |    | 1        |     |    |    |    |       |
|      | 学校研究分野                                 | 子どもと教師の心の健康マネジメント   | 1・2前 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 授業研究の理論と実践          | 1・2前 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 学校研究の手法と実践          | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 総合的な学習のカリキュラム開発     | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      | 指導法深化分野                                | ICT活用と授業デザイン        | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 人口減少社会でのICT活用の役割    | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 道徳の授業デザイン論          | 1・2前 | 2  |    | 1        |     | 2  |    |    |       |
|      |                                        | 初等・中等教育における協働的指導法開発 | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 特別活動の理論と実践          | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 現代の教育課題に対応した指導法開発   | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
| 選択科目 | 分野共通<br>課題研究科目                         | 学校教育におけるデータ分析とその活用  | 1前   | 1  |    | 2        | 1   |    |    |    | 1     |
|      |                                        | 教職課題研究Ⅰ             | 1通   | 3  |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      |                                        | 教職課題研究Ⅱ             | 2通   | 3  |    | 6        | 8   | 1  |    |    |       |
|      | 組織経営分野                                 | 学校安全と危機管理           | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | グループダイナミクスからみた学級経営  | 1・2後 | 2  |    | 1        |     | 1  |    |    |       |
|      |                                        | 学校づくりと教師            | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 校内研修のデザインとマネジメント    | 1・2後 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 学校経営と組織マネジメント       | 1・2前 | 2  |    | 1        |     |    |    |    |       |
|      | 学校研究分野                                 | 子どもと教師の心の健康マネジメント   | 1・2前 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 授業研究の理論と実践          | 1・2前 | 2  |    |          | 1   |    |    |    |       |
|      |                                        | 学校研究の手法と実践          | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 総合的な学習のカリキュラム開発     | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      | 指導法深化分野                                | ICT活用と授業デザイン        | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 人口減少社会でのICT活用の役割    | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 道徳の授業デザイン論          | 1・2前 | 2  |    | 1        |     |    |    |    |       |
|      |                                        | 初等・中等教育における協働的指導法開発 | 1・2前 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |
|      |                                        | 特別活動の理論と実践          | 1・2後 | 2  |    |          |     | 2  |    |    |       |
|      |                                        | 現代の教育課題に対応した指導法開発   | 1・2後 | 2  |    |          | 2   |    |    |    |       |

【平成29年度】

| 科目区分    | 授業科目の名称                    | 配当<br>年次 | 単位数 |    |    | 専任教員等の配置 |     |    |    |    | 兼任・<br>兼担 |
|---------|----------------------------|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-----------|
|         |                            |          | 必修  | 選択 | 自由 | 教授       | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 |           |
| 共通科目    | 【教育課程の編成・実施に関する領域】         |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
|         | 学校を基盤とするカリキュラム開発           | 1前       | 2   |    |    |          | 2   | 2  |    |    |           |
|         | 特色ある教育課程とそのデザイン            | 1後       | 2   |    |    |          | 3   | 2  |    |    |           |
|         | 【教科等の実践的な指導方法に関する領域】       |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
|         | 授業研究の実践と課題                 | 1前       | 2   |    |    | 2        | 3   | 1  |    |    |           |
|         | 教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善 | 1前       | 2   |    |    | 2        | 3   | 2  |    |    |           |
|         | 【生徒指導・教育相談に関する領域】          |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
|         | 学校における生徒指導の実践と課題           | 2前       | 2   |    |    | 1        | 1   | 2  |    |    | 1         |
|         | 教育相談の方法と実践                 | 1後       | 2   |    |    | 1        | 1   | 2  |    |    |           |
|         | 【学級・学校経営に関する領域】            |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
| 実習科目    | 学級経営の実践と課題                 | 1前       | 2   |    |    | 2        | 1   | 5  |    |    |           |
|         | 自律的学級経営の理論と実践              | 1前       | 2   |    |    | 2        | 2   |    |    |    |           |
|         | 【学校教育と教員のあり方に関する領域】        |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
|         | 学校教育の役割と教師の成長              | 1後       | 2   |    |    | 1        | 1   |    |    |    |           |
|         | 鹿児島における学校教育と教員のあり方         | 1通       | 2   |    |    | 2        |     | 1  |    |    |           |
|         | 高度化実践実習Ⅰ                   | 1前       | 2   |    |    | 6        | 8   | 6  |    |    |           |
|         | 高度化実践実習Ⅱ                   | 2前       | 2   |    |    | 6        | 8   | 6  |    |    |           |
| 選択科目    | 重点領域実践実習Ⅰ                  | 1後       | 1   |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |           |
|         | 重点領域実践実習Ⅱ                  | 1後       | 1   |    |    | 6        | 8   | 4  |    |    |           |
|         | 開発実践実習Ⅰ                    | 1後       | 2   |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |           |
|         | 開発実践実習Ⅱ                    | 2通       | 4   |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |           |
|         | 課題研究科目                     |          |     |    |    |          |     |    |    |    |           |
|         | 学校教育におけるデータ分析とその活用         | 1前       | 1   |    |    | 2        | 1   |    |    |    |           |
|         | 教職課題研究Ⅰ                    | 1通       | 3   |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |           |
| 組織経営分野  | 教職課題研究Ⅱ                    | 2通       | 3   |    |    | 6        | 8   | 1  |    |    |           |
|         | 学校安全と危機管理                  | 1・2後     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    | 1         |
|         | グループダイナミクスからみた学級経営         | 1・2後     |     | 2  |    | 1        |     | 1  |    |    |           |
|         | 学校づくりと教師                   | 1・2前     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    |           |
|         | 校内研修のデザインとマネジメント           | 1・2後     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    |           |
|         | 学校経営と組織マネジメント              | 1・2前     |     | 2  |    | 1        |     |    |    |    |           |
|         | 子どもと教師の心の健康マネジメント          | 1・2前     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    |           |
|         | 授業研究の理論と実践                 | 1・2前     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    |           |
|         | 学校研究の手法と実践                 | 1・2前     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |
|         | 総合的な学習のカリキュラム開発            | 1・2後     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |
| 指導法深化分野 | ICT活用と授業デザイン               | 1・2後     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |
|         | 人口減少社会でのICT活用の役割           | 1・2前     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |
|         | 道徳の授業デザイン論                 | 1・2前     |     | 2  |    | 1        |     | 2  |    |    |           |
|         | 初等・中等教育における協働的指導法開発        | 1・2前     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |
|         | 特別活動の理論と実践                 | 1・2後     |     | 2  |    |          | 1   |    |    |    |           |
|         | 現代の教育課題に対応した指導法開発          | 1・2後     |     | 2  |    |          | 2   |    |    |    |           |

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員異動の理由により「特色ある教育課程とそのデザイン」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「授業研究の実践と課題」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・遠隔地に勤務先がある現職教員学生に便宜を図るため「学校における生徒指導の実践と課題」の配当年次を「2年次後期」から「2年次前期」に変更。
- ・遠隔地に勤務先がある現職教員学生に便宜を図るため「教育相談の方法と実践」の配当年次を「2年次前期」から「1年次後期」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「学級経営の実践と課題」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師5」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「高度化実践実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「高度化実践実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師7」から「講師6」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「グループダイナミクスからみた学級経営」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・カリキュラムの系統性を高めるため「学校づくりと教師」の配当年次を「1・2年次後期」から「1・2年次前期」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員異動の理由により「学校を基盤とするカリキュラム開発」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたため、「特色ある教育課程とそのデザイン」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・カリキュラムの系統性を高めるため「授業研究の実践と課題」の配当年次を「1年次前期」から「1年次後期」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたことと、担当教員異動の理由により「教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・遠隔地に勤務先がある現職教員学生に便宜を図るため「学校における生徒指導の実践と課題」の配当年次を「2年次前期」から「1年次後期」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたことと、担当教員異動の理由により「学級経営の実践と課題」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたことと、担当教員異動の理由により「高度化実践実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師3」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたことと、担当教員異動の理由により「高度化実践実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師3」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「重点領域実践実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。
- ・担当教員異動の理由により「道徳の授業デザイン論」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師0」に変更。
- ・AC教員審査により教員の採用が認められたため、「特別活動の理論と実践」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画   |          |         |          | 変更状況              |                   |                  |                   | 備考 |
|----------|----------|---------|----------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|----|
| 必修       | 選択       | 自由      | 計(A)     | 必修                | 選択                | 自由               | 計                 |    |
| 19<br>科目 | 15<br>科目 | 0<br>科目 | 34<br>科目 | 19<br>科目<br>[ 0 ] | 15<br>科目<br>[ 0 ] | 0<br>科目<br>[ 0 ] | 34<br>科目<br>[ 0 ] |    |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由，代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1  |       |     |      |       |       |                |
| 2  |       |     |      |       |       |                |
| 3  |       |     |      |       |       |                |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由，代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|---------------|
| 1  |       |     |      |       |       |               |
| 2  |       |     |      |       |       |               |
| 3  |       |     |      |       |       |               |

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{34} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分                |                                                                                                         | 内 容                                                                                                     |                                                                                         |                                                                                 |                                                 |                                                                                        | 備考                       |                    |  |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------|--|
| (1)校地等             | 区 分                                                                                                     | 専 用                                                                                                     | 共 用                                                                                     | 共用する他の学校等の専用                                                                    |                                                 | 計                                                                                      | 大学全体                     |                    |  |
|                    | 校 舎 敷 地                                                                                                 | 525,967<br>510,722 m <sup>2</sup>                                                                       | 0 m <sup>2</sup>                                                                        | 0 m <sup>2</sup>                                                                |                                                 | 525,967<br>510,722 m <sup>2</sup>                                                      |                          |                    |  |
|                    | 運動場用地                                                                                                   | 106,929 m <sup>2</sup>                                                                                  | 0 m <sup>2</sup>                                                                        | 0 m <sup>2</sup>                                                                |                                                 | 106,929 m <sup>2</sup>                                                                 |                          |                    |  |
|                    | 小 計                                                                                                     | 632,896<br>617,651 m <sup>2</sup>                                                                       | 0 m <sup>2</sup>                                                                        | 0 m <sup>2</sup>                                                                |                                                 | 632,896<br>617,651 m <sup>2</sup>                                                      |                          |                    |  |
|                    | そ の 他                                                                                                   | 35,960,681<br>35,976,028 m <sup>2</sup>                                                                 | 0 m <sup>2</sup>                                                                        | 0 m <sup>2</sup>                                                                |                                                 | 35,960,681<br>35,976,028 m <sup>2</sup>                                                |                          |                    |  |
|                    | 合 計                                                                                                     | 36,593,577<br>36,593,679 m <sup>2</sup>                                                                 | 0 m <sup>2</sup>                                                                        | 0 m <sup>2</sup>                                                                |                                                 | 36,593,577<br>36,593,679 m <sup>2</sup>                                                |                          |                    |  |
| (2)校舎              | 区 分                                                                                                     | 専 用                                                                                                     | 共 用                                                                                     | 共用する他の学校等の専用                                                                    |                                                 | 計                                                                                      | 大学全体                     |                    |  |
|                    |                                                                                                         | 241,689<br>208,888 m <sup>2</sup><br><del>(241,689)</del><br>(208,888 m <sup>2</sup> )                  | 0 m <sup>2</sup><br>(0 m <sup>2</sup> )                                                 | 0 m <sup>2</sup><br>(0 m <sup>2</sup> )                                         |                                                 | 241,689<br>208,888 m <sup>2</sup><br><del>(241,689)</del><br>(208,888 m <sup>2</sup> ) |                          |                    |  |
| (3)教室等             | 講 義 室                                                                                                   | 演 習 室                                                                                                   | 実験実習室                                                                                   |                                                                                 | 情報処理学習施設                                        | 語学学習施設                                                                                 | 大学全体                     |                    |  |
|                    | 145 室                                                                                                   | 287 室                                                                                                   | 1,662 室                                                                                 |                                                                                 | 29 室<br>(補助職員 0 人)                              | 5 室<br>(補助職員 0 人)                                                                      |                          |                    |  |
| (4)専任教員研究室         | 新設学部等の名称                                                                                                |                                                                                                         |                                                                                         | 室 数                                                                             |                                                 |                                                                                        | 使用目的の見直し等による変更(30)       |                    |  |
|                    | 教育学研究科                                                                                                  |                                                                                                         |                                                                                         | 14 15 室                                                                         |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
| (5)図書・設備           | 新設学部等の名称                                                                                                | 図 書                                                                                                     | 学術雑誌                                                                                    |                                                                                 | 視聴覚資料                                           | 機械・器具                                                                                  | 標 本                      | 大学全体               |  |
|                    |                                                                                                         | 〔うち外国書〕                                                                                                 | 〔うち外国書〕                                                                                 | 電子ジャーナル                                                                         |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
|                    |                                                                                                         | 冊                                                                                                       | 種                                                                                       | 〔うち外国書〕                                                                         |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
|                    |                                                                                                         | 点                                                                                                       | 点                                                                                       | 点                                                                               |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
| 教育学研究科             | 1,288,239 [374,399]<br>1,267,106 [367,041]<br><del>(1,288,239 [374,399])</del><br>(1,267,106 [367,041]) | 36,422 [11,782]<br>36,010 [11,705]<br><del>(36,422 [11,782])</del><br>(36,010 [11,705])                 | 6,242 [5,926]<br>5,509 [5,506]<br><del>(6,242 [5,926])</del><br>(5,509 [5,506])         | 8,439<br>8,563<br><del>(8,439)</del><br>(8,563)                                 | 1,725<br>(1,725)                                | 1,354,970<br>(1,354,970)                                                               |                          |                    |  |
|                    | 計                                                                                                       | 1,288,239 [374,399]<br>1,267,106 [367,041]<br><del>(1,288,239 [374,399])</del><br>(1,267,106 [367,041]) | 36,422 [11,782]<br>36,010 [11,705]<br><del>(36,422 [11,782])</del><br>(36,010 [11,705]) | 6,242 [5,926]<br>5,509 [5,506]<br><del>(6,242 [5,926])</del><br>(5,509 [5,506]) | 8,439<br>8,563<br><del>(8,439)</del><br>(8,563) | 1,725<br>(1,725)                                                                       | 1,354,970<br>(1,354,970) |                    |  |
|                    |                                                                                                         |                                                                                                         |                                                                                         |                                                                                 |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
| (6)図書館             | 面 積                                                                                                     |                                                                                                         | 閱 覧 座 席 数                                                                               |                                                                                 | 収 納 可 能 冊 数                                     |                                                                                        |                          | 集計方法の見直し等による変更(30) |  |
|                    | 15,479 m <sup>2</sup>                                                                                   |                                                                                                         | 1,142<br>1,203 席                                                                        |                                                                                 | 1,205,000<br>1,227,500 冊                        |                                                                                        |                          |                    |  |
| (7)体育館             | 面 積                                                                                                     |                                                                                                         | 体育館以外のスポーツ施設の概要                                                                         |                                                                                 |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
|                    | 4,658 m <sup>2</sup>                                                                                    |                                                                                                         | 陸上競技場、球技場、野球場、テニスコート、武道場、室内プール、艇庫、弓道場                                                   |                                                                                 |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |
| (8)経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り                                                                                                  | 区 分                                                                                                     | 開設年度                                                                                    | 完成年度                                                                            | 区 分                                             | 開設前年度                                                                                  | 開設年度                     | 完成年度               |  |
|                    |                                                                                                         | 教員1人当り研究費等                                                                                              | 千円                                                                                      | 千円                                                                              | 図書購入費                                           | 千円                                                                                     | 千円                       | 千円                 |  |
|                    |                                                                                                         | 共同研究費等                                                                                                  | 千円                                                                                      | 千円                                                                              | 設備購入費                                           | 千円                                                                                     | 千円                       | 千円                 |  |
|                    | 学生1人当り納付金                                                                                               | 第1年次                                                                                                    | 第2年次                                                                                    | 第3年次                                                                            | 第4年次                                            | 第5年次                                                                                   | 第6年次                     |                    |  |
|                    |                                                                                                         | 千円                                                                                                      | 千円                                                                                      | 千円                                                                              | 千円                                              | 千円                                                                                     | 千円                       |                    |  |
|                    | 学生納付金以外の維持方法の概要                                                                                         |                                                                                                         |                                                                                         |                                                                                 |                                                 |                                                                                        |                          |                    |  |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

| 大 学 の 名 称    | 鹿 児 島 大 学 |            |                          |             |                   |                   |            |                 | 備 考                                         |
|--------------|-----------|------------|--------------------------|-------------|-------------------|-------------------|------------|-----------------|---------------------------------------------|
| 既設学部等の名称     | 修業<br>年限  | 入 定<br>学 員 | 編入学<br>定 員               | 収 容<br>定 員  | 学位又<br>は称号        | 平均入<br>学定員<br>超過率 | 開 設<br>年 度 | 所 在 地           |                                             |
| 法文学部         | 年         | 人          | 年次<br>人<br><br>3年次<br>10 | 人<br><br>20 |                   | 倍                 |            |                 | 編入学定員は学部全体の定員で外数。改組前の編入学定員は、平成31年度より学生募集停止。 |
| 法経社会学科       | 4         | 245        |                          | 490         | 学士<br>(法学・経済学・学術) | 1.04              | 平成29年度     | 鹿児島市郡元一丁目21番30号 |                                             |
| 人文学科         | 4         | 165        |                          | 330         | 学士<br>(文学)        | 1.01              | 平成29年度     | 同上              |                                             |
| 法政策学科        | 4         | －          |                          | －           | 学士<br>(法学)        |                   | 平成9年度      | 同上              | 平成29年度学生募集停止                                |
| 経済情報学科       | 4         | －          |                          | －           | 学士<br>(経済学)       |                   | 平成9年度      | 同上              | 平成29年度学生募集停止                                |
| 人文学科         | 4         | －          |                          | －           | 学士<br>(文学)        |                   | 昭和54年度     | 同上              | 平成29年度学生募集停止                                |
| 教育学部         |           |            |                          |             |                   |                   |            |                 |                                             |
| 学校教育教員養成課程   | 4         | 200        | －                        | 850         | 学士<br>(教育学)       | 1.03              | 平成9年度      | 鹿児島市郡元一丁目20番6号  | 平成29年度入学定員減（25人）                            |
| 特別支援教育教員養成課程 | 4         | 15         | －                        | 60          | 学士<br>(教育学)       | 1.01              | 昭和49年度     | 同上              |                                             |
| 生涯教育総合課程     | 4         | －          | －                        | －           | 学士<br>(教育学)       |                   | 平成9年度      | 同上              | 平成29年度学生募集停止                                |
| 理学部          |           |            |                          |             |                   |                   |            |                 |                                             |
| 数理情報科学科      | 4         | 40         | －                        | 160         | 学士<br>(理学)        | 1.04              | 平成9年度      | 鹿児島市郡元一丁目21番35号 |                                             |
| 物理科学科        | 4         | 45         | －                        | 180         | 学士<br>(理学)        | 1.04              | 平成9年度      | 同上              |                                             |
| 生命化学科        | 4         | 50         | －                        | 200         | 学士<br>(理学)        | 1.02              | 平成9年度      | 同上              |                                             |
| 地球環境科学科      | 4         | 50         | －                        | 200         | 学士<br>(理学)        | 1.05              | 平成9年度      | 同上              |                                             |
| 医学部          |           |            |                          |             |                   |                   |            |                 |                                             |
| 医学科          | 6         | 107        | 2年次<br>10                | 692         | 学士<br>(医学)        | 1.00              | 昭和30年度     | 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 | （編入学定員は内数）                                  |
| 保健学科         |           |            |                          |             |                   |                   |            |                 |                                             |
| 看護学専攻        | 4         | 80         | 3年次<br>10                | 340         | 学士<br>(看護学)       | 1.00              | 平成11年度     | 同上              | （編入学定員は内数）                                  |
| 理学療法学専攻      | 4         | 20         | 3年次<br>5                 | 90          | 学士<br>(保健学)       | 1.00              | 平成11年度     | 同上              | 同上                                          |
| 作業療法学専攻      | 4         | 20         | 3年次<br>5                 | 90          | 学士<br>(保健学)       | 1.00              | 平成11年度     | 同上              | 同上                                          |
| 歯学部          |           |            |                          |             |                   |                   |            |                 |                                             |
| 歯学科          | 6         | 53         | －                        | 318         | 学士<br>(歯学)        | 1.00              | 昭和52年度     | 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 |                                             |

|             |   |     |           |     |             |       |        |                      |                   |
|-------------|---|-----|-----------|-----|-------------|-------|--------|----------------------|-------------------|
| 工学部         |   |     | 3年次<br>20 | 40  |             |       |        |                      | 編入学定員は学部全体の定員で外数。 |
| 機械工学科       | 4 | 94  |           | 376 | 学士<br>(工学)  | 1. 02 | 昭和30年度 | 鹿児島市郡元一丁目<br>21番40号  |                   |
| 電気電子工学科     | 4 | 78  |           | 312 | 学士<br>(工学)  | 1. 06 | 平成4年度  | 同上                   |                   |
| 建築学科        | 4 | 55  |           | 220 | 学士<br>(工学)  | 1. 07 | 昭和30年度 | 同上                   |                   |
| 環境化学プロセス工学科 | 4 | 35  |           | 140 | 学士<br>(工学)  | 1. 05 | 平成21年度 | 同上                   |                   |
| 海洋土木工学科     | 4 | 48  |           | 192 | 学士<br>(工学)  | 1. 02 | 平成4年度  | 同上                   |                   |
| 情報生体システム工学科 | 4 | 80  |           | 320 | 学士<br>(工学)  | 1. 06 | 平成21年度 | 同上                   |                   |
| 化学生命工学科     | 4 | 50  |           | 200 | 学士<br>(工学)  | 1. 05 | 平成21年度 | 同上                   |                   |
| 農学部         |   |     |           |     |             |       |        |                      |                   |
| 農業生産科学科     | 4 | 75  | －         | 225 | 学士<br>(農学)  | 1. 08 | 平成28年度 | 鹿児島市郡元一丁目<br>21番24号  |                   |
| 食料生命科学科     | 4 | 70  | －         | 210 | 学士<br>(農学)  | 1. 01 | 平成28年度 | 同上                   |                   |
| 農林環境科学科     | 4 | 60  | －         | 180 | 学士<br>(農学)  | 0. 99 | 平成28年度 | 同上                   |                   |
| 生物生産学科      | 4 | －   | －         | －   | 学士<br>(農学)  |       | 平成2年度  | 同上                   | 平成28年度学生募集停止      |
| 生物資源化学科     | 4 | －   | －         | －   | 学士<br>(農学)  |       | 平成2年度  | 同上                   | 平成28年度学生募集停止      |
| 生物環境学科      | 4 | －   | －         | －   | 学士<br>(農学)  |       | 平成2年度  | 同上                   | 平成28年度学生募集停止      |
| 水産学部        |   |     |           |     |             |       |        |                      |                   |
| 水産学科        | 4 | 140 | －         | 560 | 学士<br>(水産学) | 1. 03 | 昭和50年度 | 鹿児島市下荒田四丁目<br>50番20号 | 平成27年度入学定員増（10人）  |
| 水産教員養成課程    | 4 | －   | －         | －   | 学士<br>(水産学) |       | 昭和29年度 | 同上                   | 平成27年度学生募集停止      |
| 共同獣医学部      |   |     |           |     |             |       |        |                      |                   |
| 獣医学科        | 6 | 30  | －         | 180 | 学士<br>(獣医学) | 1. 05 | 平成24年度 | 鹿児島市郡元一丁目<br>21番24号  |                   |



|            |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
|------------|---|----|---|-----|------------------|------|--------|------------------|--------------|
| 物理・宇宙専攻    | 2 | 15 | － | 30  | 修士<br>(理学・工学・学術) | 1.09 | 平成21年度 | 同上               |              |
| 生命化学専攻     | 2 | 18 | － | 36  | 修士<br>(理学・工学・学術) | 1.19 | 平成21年度 | 同上               |              |
| 地球環境科学専攻   | 2 | 17 | － | 34  | 修士<br>(理学・工学・学術) | 0.70 | 平成21年度 | 同上               |              |
| 農学研究科      |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 生物生産学専攻    | 2 | 26 | － | 52  | 修士<br>(農学)       | 0.88 | 平成6年度  | 鹿児島市郡元一丁目21番24号  |              |
| 生物資源化学専攻   | 2 | 21 | － | 42  | 修士<br>(農学)       | 1.49 | 平成6年度  | 同上               |              |
| 生物環境学専攻    | 2 | 22 | － | 44  | 修士<br>(農学)       | 0.65 | 平成6年度  | 同上               |              |
| 水産学研究科     |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 水産学専攻      | 2 | 32 | － | 64  | 修士<br>(水産学)      | 1.03 | 昭和54年度 | 鹿児島市下荒田四丁目50番20号 |              |
| 〔博士後期〕     |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 人文社会科学研究科  |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 地域政策科学専攻   | 3 | 6  | － | 18  | 博士<br>(学術)       | 0.78 | 平成15年度 | 鹿児島市郡元一丁目21番30号  |              |
| 医歯学総合研究科   |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 健康科学専攻     | 4 | 19 | － | 76  | 博士<br>(医学・歯学・学術) | 0.86 | 平成15年度 | 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号  |              |
| 先進治療科学専攻   | 4 | 31 | － | 124 | 博士<br>(医学・歯学・学術) | 1.19 | 平成15年度 | 同上               |              |
| 保健学研究科     |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 保健学専攻      | 3 | 6  | － | 18  | 博士<br>(保健学)      | 0.83 | 平成17年度 | 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号  |              |
| 理工学研究科     |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 総合理工学専攻    | 3 | 24 | － | 72  | 博士<br>(理学・工学・学術) | 0.69 | 平成28年度 | 鹿児島市郡元一丁目21番40号  |              |
| 物質生産科学専攻   | 3 | －  | － | －   | 博士<br>(理学・工学・学術) |      | 平成21年度 | 同上               | 平成28年度学生募集停止 |
| システム情報科学専攻 | 3 | －  | － | －   | 博士<br>(理学・工学・学術) |      | 平成21年度 | 同上               | 平成28年度学生募集停止 |
| 生命環境科学専攻   | 3 | －  | － | －   | 博士<br>(理学・工学・学術) |      | 平成21年度 | 同上               | 平成28年度学生募集停止 |
| 共同獣医学研究科   |   |    |   |     |                  |      |        |                  |              |
| 獣医学専攻      | 4 | 6  | － | 6   | 博士<br>(獣医学)      | 1.16 | 平成30年度 | 鹿児島市郡元一丁目21番24号  |              |

|             |   |    |   |    |                     |      |        |                 |
|-------------|---|----|---|----|---------------------|------|--------|-----------------|
| 連合農学研究科     |   |    |   |    |                     |      |        |                 |
| 生物生産科学専攻    | 3 | 7  | － | 21 | 博士<br>(農学・水産学・学術)   | 1.71 | 平成21年度 | 鹿児島市郡元一丁目21番24号 |
| 応用生命科学専攻    | 3 | 8  | － | 24 | 博士<br>(農学・水産学・学術)   | 1.02 | 平成21年度 | 同上              |
| 農水圏資源環境科学専攻 | 3 | 8  | － | 24 | 博士<br>(農学・水産学・学術)   | 1.78 | 平成21年度 | 同上              |
| 〔専門職学位課程〕   |   |    |   |    |                     |      |        |                 |
| 臨床心理学研究科    |   |    |   |    |                     |      |        |                 |
| 臨床心理学専攻     | 2 | 15 | － | 30 | 臨床心理<br>修士<br>(専門職) | 1.00 | 平成19年度 | 鹿児島市郡元一丁目21番30号 |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 5 教員組織の状況

＜教育学研究科 学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                          |
|------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                             |
| 専          | 教授  | 假屋園 昭彦<br>(55)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                       |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                      |
| 専          | 教授  | 溝口 和宏<br>(50)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                              |
| 専          | 教授  | 有倉 巳幸<br>(51)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 教育相談の方法と実践<br>学校経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営<br>学校経営と組織マネジメント                                  |
| 専          | 准教授 | 廣瀬 真琴<br>(37)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 学校を基盤とするカリキュラム開発<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>授業研究の理論と実践<br>総合的な学習のカリキュラム開発                                                  |
| 専          | 准教授 | 山本 朋弘<br>(49)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割 |
| 専他         | 准教授 | 関山 徹<br>(44)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                         |
|            |     | 学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校安全と危機管理<br>子どもと教師の心の健康マネジメント                                                      |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                          |
|------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                             |
| 専          | 教授  | 假屋園 昭彦<br>(55)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                       |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                      |
| 専          | 教授  | 溝口 和宏<br>(50)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                              |
| 専          | 教授  | 有倉 巳幸<br>(51)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 教育相談の方法と実践<br>学校経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営<br>学校経営と組織マネジメント                                  |
| 専          | 准教授 | 廣瀬 真琴<br>(38)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 学校を基盤とするカリキュラム開発<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>授業研究の理論と実践<br>総合的な学習のカリキュラム開発                                                  |
| 専          | 准教授 | 山本 朋弘<br>(50)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割 |
| 専他         | 准教授 | 関山 徹<br>(44)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                         |
|            |     | 学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校安全と危機管理<br>子どもと教師の心の健康マネジメント                                                      |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                          |
|------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                             |
| 専          | 教授  | 假屋園 昭彦<br>(56)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                       |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                      |
| 専          | 教授  | 溝口 和宏<br>(51)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                              |
| 専          | 教授  | 有倉 巳幸<br>(52)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 教育相談の方法と実践<br>学校経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営<br>学校経営と組織マネジメント                                  |
| 専          | 准教授 | 廣瀬 真琴<br>(39)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 学校を基盤とするカリキュラム開発<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>授業研究の理論と実践<br>総合的な学習のカリキュラム開発                                                  |
| 専          | 准教授 | 山本 朋弘<br>(51)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                        |
|            |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>授業研究の実践と課題<br>教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>学校教育におけるデータ分析とその活用<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割 |
| 専他         | 准教授 | 関山 徹<br>(45)<br>＜平成29年 4 月＞                                                                                                                                                                                         |
|            |     | 学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校安全と危機管理<br>子どもと教師の心の健康マネジメント                                                      |



| 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 実専                     | 准教授 | 下古立 浩<br>(53)<br>＜平成29年 4 月＞<br>授業研究の実践と課題<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校研究の手法と実践<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割<br>初等・中等教育における協働的指導法開発<br>現代の教育課程に対応した指導法開発 |
|                        |     | 山元 卓也<br>(47)<br>＜平成29年 4 月＞<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 浜田 幸史<br>(42)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校を基盤とするカリキュラム開発<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営                                                                                                                                                                          |
|                        |     | 山崎 晃<br>(39)<br>＜平成29年 4 月＞<br>授業研究の実践と課題<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                                                                                                                                                                            |
| 実み                     | 講師  | 宮崎 幸樹<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校を基盤とするカリキュラム開発<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                                                                                                                                                                                   |
|                        |     | 宮崎 憲一郎<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>授業研究の実践と課題<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営                                                                                                                                              |
| 実み                     | 講師  | 上飯屋 祐介<br>(37)<br>＜平成29年 4 月＞<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅱ                                                                                                                                    |
|                        |     | 山之口 和孝<br>(44)<br>＜平成29年 4 月＞<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅱ                                                                                                                                                       |
| 実み                     | 講師  | 宇都 慎一郎<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題                                                                                                                                                                                            |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 実専                     | 准教授 | 下古立 浩<br>(53)<br>＜平成29年 4 月＞<br>授業研究の実践と課題<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校研究の手法と実践<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割<br>初等・中等教育における協働的指導法開発<br>現代の教育課程に対応した指導法開発<br><b>特別活動の理論と実践</b> |
|                        |     | 山元 卓也<br>(48)<br>＜平成29年 4 月＞<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                                                                                                                    |
| 実み                     | 講師  | 浜田 幸史<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校を基盤とするカリキュラム開発<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>グループダイナミックスからみた学級経営                                                                                                                                                                                               |
|                        |     | 山崎 晃<br>(39)<br>＜平成29年 4 月＞<br>授業研究の実践と課題<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                                                                                                                                                                                                 |
| 実み                     | 講師  | 宮崎 幸樹<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校を基盤とするカリキュラム開発<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>道徳の授業デザイン論                                                                                                                                                                                                        |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 久保 博之<br>(38)<br>＜平成29年10月＞<br><b>特色ある教育課程とそのデザイン<br/>グループダイナミックスからみた学級<br/>経営</b>                                                                                                                                                                                                            |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 上飯屋 祐介<br>(37)<br>＜平成29年 4 月＞<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅱ                                                                                                                                                         |
|                        |     | 山之口 和孝<br>(44)<br>＜平成29年 4 月＞<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅱ                                                                                                                                                                            |
| 実み                     | 講師  | 宇都 慎一郎<br>(43)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題                                                                                                                                                                                                                 |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |     | 担当授業科目名                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 実専                     | 准教授 | 下古立 浩<br>(54)<br>＜平成29年 4 月＞<br>授業研究の実践と課題<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ<br>学校研究の手法と実践<br>ICT活用と授業デザイン<br>人口減少社会でのICT活用の役割<br>初等・中等教育における協働的指導法開発<br>現代の教育課程に対応した指導法開発<br><b>特別活動の理論と実践</b> |
|                        |     | 山元 卓也<br>(49)<br>＜平成29年 4 月＞<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅰ<br>重点領域実践実習Ⅱ<br>開発実践実習Ⅰ<br>開発実践実習Ⅱ<br>教職課題研究Ⅰ<br>教職課題研究Ⅱ                                                                                                                                                                    |
| 実み                     | 講師  |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 久保 博之<br>(39)<br>＜平成29年10月＞<br><b>特色ある教育課程とそのデザイン<br/>授業研究の実践と課題<br/>学級経営の実践と課題<br/>高度化実践実習Ⅰ<br/>高度化実践実習Ⅱ<br/>グループダイナミックスからみた学級<br/>経営</b>                                                                                                                                                    |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 上飯屋 祐介<br>(38)<br>＜平成29年 4 月＞<br>特色ある教育課程とそのデザイン<br>教科教育、指導方法、評価に関する実践<br>的課題とその改善<br>学級経営の実践と課題<br>高度化実践実習Ⅰ<br>高度化実践実習Ⅱ<br>重点領域実践実習Ⅱ                                                                                                                                                         |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 実み                     | 講師  | 宇都 慎一郎<br>(44)<br>＜平成29年 4 月＞<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題                                                                                                                                                                                                                 |
|                        |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                         | 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                         | 専任・<br>兼任・<br>兼任<br>の別 | 職名  | 氏 名<br>(年 齢)<br>＜就任（予定）年月＞                                                                         |
|------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |     | 担当授業科目名                                                                                            |                        |     | 担当授業科目名                                                                                            |                        |     | 担当授業科目名                                                                                            |
| 実み                     | 講師  | 川田 耕太郎<br>(44)<br>＜平成29年4月＞                                                                        | 実み                     | 講師  | 川田 耕太郎<br>(44)<br>＜平成29年4月＞                                                                        | 実み                     | 講師  | 川田 耕太郎<br>(45)<br>＜平成29年4月＞                                                                        |
|                        |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題<br>鹿児島における学校教育と教員のあり方<br>重点領域実践実習Ⅱ |                        |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題<br>鹿児島における学校教育と教員のあり方<br>重点領域実践実習Ⅱ |                        |     | 特色ある教育課程とそのデザイン<br>学校における生徒指導の実践と課題<br>教育相談の方法と実践<br>学級経営の実践と課題<br>鹿児島における学校教育と教員のあり方<br>重点領域実践実習Ⅱ |
| 兼任                     | 教授  | 今林 俊一<br>(60)<br>＜平成29年4月＞                                                                         | 兼任                     | 教授  | 今林 俊一<br>(60)<br>＜平成29年4月＞                                                                         | 兼任                     | 教授  | 今林 俊一<br>(61)<br>＜平成29年4月＞                                                                         |
|                        |     | 学校における生徒指導の実践と課題                                                                                   |                        |     | 学校における生徒指導の実践と課題                                                                                   |                        |     | 学校における生徒指導の実践と課題                                                                                   |
| 兼任                     | 准教授 | 黒光 貴峰<br>(40)<br>＜平成29年4月＞                                                                         | 兼任                     | 准教授 | 黒光 貴峰<br>(40)<br>＜平成29年4月＞                                                                         | 兼任                     | 准教授 | 黒光 貴峰<br>(41)<br>＜平成29年4月＞                                                                         |
|                        |     | 学校安全と危機管理                                                                                          |                        |     | 学校安全と危機管理                                                                                          |                        |     | 学校安全と危機管理                                                                                          |

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平成29年3月宮崎憲一郎講師就任辞退により、後任として久保博之講師に変更し、平成29年10月から担当（平成29年6月教員審査済）。前期授業科目については他の専任教員で分担するため支障はない。
- ・平成29年10月から下古立浩准教授の担当科目に「特別活動の理論と実践」を追加（平成29年6月教員審査済）。

【平成30年度】

- ・平成30年3月、内 健史准教授の人事異動による辞職。内准教授が担当していた科目については、他の専任教員で分担する。
- ・山元卓也講師の職位変更（講師→准教授）及び担当授業科目「授業研究の実践と課題」「教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善」「学校研究の手法と実践」「ICT活用と授業デザイン」「人口減少社会でのICT活用の役割」「初等・中等教育における協働的指導法開発」「特別活動の理論と実践」「現代の教育課題に対応した指導法開発」の追加に係る専任教員採用等設置計画変更書を平成30年6月提出予定。
- ・平成30年3月、浜田幸史講師の人事異動による辞職。後任については、専任教員採用等設置計画変更書を平成30年6月提出予定。前期授業科目については他の専任教員で分担するため支障はない。
- ・平成30年3月、山崎 晃講師の人事異動による辞職。後任については、専任教員採用等設置計画変更書を平成30年6月提出予定。前期授業科目については他の専任教員で分担するため支障はない。
- ・平成30年3月、宮崎幸樹講師の人事異動による辞職。後任については、専任教員採用等設置計画変更書を平成30年6月提出予定。前期授業科目については他の専任教員で分担するため支障はない。
- ・平成30年4月から久保博之講師の担当科目に「授業研究の実践と課題」「学級経営の実践と課題」「高度化実践実習Ⅰ」「高度化実践実習Ⅱ」を追加（平成29年6月教員審査済）。
- ・平成30年3月、山之口和孝講師の人事異動による辞職。後任については、専任教員採用等設置計画変更書を平成30年6月提出予定。前期授業科目については他の専任教員で分担するため支障はない。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査済となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

| 完成年度時における<br>設置基準上の必要専<br>任教員数 | 専任教員数のうち、<br>完成年度時における<br>設置基準上の必要教<br>授数 | 専任教員数のうち、<br>完成年度時における<br>設置基準上の必要実<br>務家教員数 |
|--------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 11<br>名                        | 4<br>名                                    | 5<br>名                                       |

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

| 設 置 時 の 計 画 |        |                |     |          | 現在（報告書提出時）の状況 |                |     |        |          | 現在（報告書提出時）の完成年度時の計画 |        |        |       |          |
|-------------|--------|----------------|-----|----------|---------------|----------------|-----|--------|----------|---------------------|--------|--------|-------|----------|
| 教 授         | 准教授    | 講 師            | 助 教 | 計<br>(A) | 教 授           | 准教授            | 講 師 | 助 教    | 計<br>(B) | 教 授                 | 准教授    | 講 師    | 助 教   | 計<br>(C) |
| 6           | 8      | 9              | 0   | 23       | 6             | 8              | 4   | 0      | 18       | 6                   | 9      | 8      | 0     | 23       |
| (4)         | (9)    | (8)            | (0) | (21)     |               |                |     |        |          | [ 0 ]               | [ +1 ] | [ Δ1 ] | [ 0 ] | [ 0 ]    |
| 研究者教員数      | 実務家教員数 | 講義のみ担当<br>の教員数 |     | 研究者教員数   | 実務家教員数        | 講義のみ担当<br>の教員数 |     | 研究者教員数 | 実務家教員数   | 講義のみ担当<br>の教員数      |        |        |       |          |
| 8           | 15     | 0              |     | 8        | 10            | 0              |     | 8      | 15       | 0                   |        |        |       |          |
| (8)         | (13)   | (0)            |     |          |               |                |     | [ 0 ]  | [ 0 ]    | [ 0 ]               |        |        |       |          |

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

| 年 齢 構 成             |                                                      |                                              |
|---------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 定年規定の定める<br>定年年齢（歳） | 報告書提出時（上<br>記（B））の教員<br>のうち、定年を延<br>長して採用してい<br>る教員数 | 完成年度時（上記<br>（C））の教員う<br>ち、定年を延長し<br>て採用する教員数 |
| 65<br>歳             | 0<br>名                                               | 0<br>名                                       |

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ー⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (3) 専任教員辞任等の理由

## (3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番 号        | 職 位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別          | 担当予定科目              | 後任補充状況       | 就任辞退（未就任）の理由                      |          |    |   |    |
|------------|-----|--------|---------------------|---------------------|--------------|-----------------------------------|----------|----|---|----|
| 1          | 講師  | 宮崎 憲一郎 | 必修                  | 特色ある教育課程とそのデザイン     | ①            | H29. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(29) |          |    |   |    |
|            |     |        | 必修                  | 授業研究の実践と課題          | ①            |                                   |          |    |   |    |
|            |     |        | 必修                  | 学級経営の実践と課題          | ①            |                                   |          |    |   |    |
|            |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ            | ①            |                                   |          |    |   |    |
|            |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ            | ①            |                                   |          |    |   |    |
|            |     |        | 選択                  | グループダイナミックスからみた学級経営 | ①            |                                   |          |    |   |    |
|            |     |        |                     |                     |              |                                   |          |    |   |    |
| 合計（D）      |     |        |                     |                     | 後任補充状況の集計（E） |                                   |          |    |   |    |
| 就任を辞退した教員数 |     |        | 担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c） |                     | ①の合計数（a）     | ②の合計数（b）                          | ③の合計数（c） |    |   |    |
| 1          | 人   | 必修     | 5                   | 科目                  | 必修           | 5                                 | 科目       | 必修 | 0 | 科目 |
|            |     | 選択     | 1                   | 科目                  | 選択           | 1                                 | 科目       | 選択 | 0 | 科目 |
|            |     | 自由     | 0                   | 科目                  | 自由           | 0                                 | 科目       | 自由 | 0 | 科目 |
|            |     | 計      | 6                   | 科目                  | 計            | 6                                 | 科目       | 計  | 0 | 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番 号     | 職 位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別          | 担当予定科目                     | 後任補充状況       | 辞任等の理由                            |          |    |          |    |
|---------|-----|--------|---------------------|----------------------------|--------------|-----------------------------------|----------|----|----------|----|
| 1       | 准教授 | 内 健 史  | 必修                  | 学校教育の役割と教師の成長              | ①            | H30. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(30) |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 鹿児島における学校教育と教員のあり方         | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 重点領域実践実習Ⅰ                  | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 重点領域実践実習Ⅱ                  | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 開発実践実習Ⅰ                    | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 開発実践実習Ⅱ                    | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 教職課題研究Ⅰ                    | ①            |                                   |          |    |          |    |
| 2       | 講師  | 浜田 幸史  | 必修                  | 教職課題研究Ⅱ                    | ①            | H30. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(30) |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 学校を基盤とするカリキュラム開発           | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
| 3       | 講師  | 山崎 晃   | 選択                  | グループダイナミックスからみた学級経営        | ①            | H30. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(30) |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 授業研究の実践と課題                 | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 学級経営の実践と課題                 | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
| 4       | 講師  | 宮崎 幸樹  | 選択                  | 道徳の授業デザイン論                 | ①            | H30. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(30) |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 学校を基盤とするカリキュラム開発           | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
| 5       | 講師  | 山之口 和孝 | 選択                  | 道徳の授業デザイン論                 | ①            | H30. 3. 31付け鹿児島県教育委員会へ転出のため辞任(30) |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 教材研究、指導方法、評価に関する実践的課題とその改善 | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 学級経営の実践と課題                 | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅰ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
|         |     |        | 必修                  | 高度化実践実習Ⅱ                   | ①            |                                   |          |    |          |    |
| 合計（F）   |     |        |                     |                            | 後任補充状況の集計（G） |                                   |          |    |          |    |
| 辞任した教員数 |     |        | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） |                            | ①の合計数（a）     |                                   | ②の合計数（b） |    | ③の合計数（c） |    |
| 5       | 人   | 必修     | 25                  | 科目                         | 必修           | 25                                | 科目       | 必修 | 0        | 科目 |
|         |     | 選択     | 3                   | 科目                         | 選択           | 3                                 | 科目       | 選択 | 0        | 科目 |
|         |     | 自由     | 0                   | 科目                         | 自由           | 0                                 | 科目       | 自由 | 0        | 科目 |
|         |     | 計      | 28                  | 科目                         | 計            | 28                                | 科目       | 計  | 0        | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計(D) + (F) |   |                         |       | 後任補充状況の集計(E) + (G) |       |          |      |          |      |
|-------------|---|-------------------------|-------|--------------------|-------|----------|------|----------|------|
| 辞任等した教員数    |   | 担当科目数の合計(a) + (b) + (c) |       | ①の合計数(a)           |       | ②の合計数(b) |      | ③の合計数(c) |      |
| 6           | 人 | 必修                      | 30 科目 | 必修                 | 30 科目 | 必修       | 0 科目 | 必修       | 0 科目 |
|             |   | 選択                      | 4 科目  | 選択                 | 4 科目  | 選択       | 0 科目 | 選択       | 0 科目 |
|             |   | 自由                      | 0 科目  | 自由                 | 0 科目  | 自由       | 0 科目 | 自由       | 0 科目 |
|             |   | 計                       | 34 科目 | 計                  | 34 科目 | 計        | 0 科目 | 計        | 0 科目 |

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{23} = 26.08 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

| 番 号     | 職 位 | 専任教員氏名                   | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況    | 辞任等の理由    |           |    |      |
|---------|-----|--------------------------|------------|--------|-----------|-----------|-----------|----|------|
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
|         |     |                          |            |        |           |           |           |    |      |
| 合計      |     |                          |            |        | 後任補充状況の集計 |           |           |    |      |
| 辞任した教員数 |     | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) |            |        | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) |    |      |
| 人       | 必修  | 0                        | 科目         | 必修     | 科目        | 必修        | 科目        | 必修 | 科目   |
|         | 選択  | 0                        | 科目         | 選択     | 科目        | 選択        | 科目        | 選択 | 科目   |
|         | 自由  | 0                        | 科目         | 自由     | 科目        | 自由        | 科目        | 自由 | 科目   |
|         | 計   | 0                        | 科目         | 計      | 0 科目      | 計         | 0 科目      | 計  | 0 科目 |

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

浜田幸史講師、山崎晃講師、宮崎幸樹講師並びに山之口和孝講師の後任については、平成30年6月専任教員採用等設置計画変更書を提出し補充する予定であり、それまでの間の担当科目については他の専任教員で分担する。学生へは、ガイダンス及び時間割等で周知している。なお、内健史准教授については後任補充の予定はないため、内准教授が担当していた科目については他の教員で分担する。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分              | 留 意 事 項 等                                                                                                                                                                                                                 | 履 行 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 未履行事項について<br>の実施計画 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 設 置 時<br>(29年4月) | <p>1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに教育委員会等との連携を図り、理論と実践を融合し、高度な実践力・応用力を備えた教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、教育目標と、その評価の基準・方法の明確化を図りつつ、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> | <p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画に沿って準備を進めた。平成29年2月1日に学校教育高度化専攻準備委員会を設置し、2月6日から3月27日までに計8回の委員会を開催し、設置後の各種委員会規則の制定、実習の具体的計画、eポートフォリオの設定等を検討した。同時にFD会議も開催し、担当者間での授業方法の共有を図った。また、協定を結んでいる県教育委員会及び9市町村教育委員会とは、平成28年12月16日に協議会を開催し、設置後の連携のあり方等について協議を行った。さらには、平成29年2月10日には県教育委員会が主催する教職大学院派遣教員の説明会にて、本学進学後の教育課程等についての説明及び質疑応答を行った。(29)</p> <p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画に沿って実施した。連携する県及び市町村教育委員会とは、平成29年5月10日に行われた連携協議会や平成30年3月3日に行われた成果報告会だけでなく、実習等での打ち合わせを通して随時、連携を図った。</p> <p>教育研究活動においては、教職員支援機構による「教員の資質向上のための研修プログラム開発支援事業」に採択され、継続的な教員研修のあり方について教職大学院として研究を進めた。また、教務委員会など各種委員会のほか、ほぼ毎週月曜日に行われた教員会議では、カリキュラムや実習の進め方等について検討を行った。加えて、ほぼ毎週木曜日に行われたFD会議では、学生の学習状況等についての共有、各チームでのFDアンケートの結果の分析と共有、及び改善を図るべく、各委員会での検討事項として依頼し、各委員会では対応策の検討を行った。なお、FD会議では、平成30年1月11日から3月22日まで10回にわたって実習と教職課題研究以外のすべての科目の授業リフレクション会を行った。実習や教職課題研究も含め、これらの取組については、中間成果報告書にまとめ、平成30年9月までに発刊の予定である。(30)</p> | <p>履行済</p>         |

|                                |      |  |  |  |  |
|--------------------------------|------|--|--|--|--|
| 設置計画履行状況<br>調査時<br><br>(30年2月) | 該当なし |  |  |  |  |
|--------------------------------|------|--|--|--|--|

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。  
その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

＜教育学研究科 学校教育実践高度化専攻（専門職学位課程）＞

（１）設置計画変更事項等 該当なし

| 設 置 時 の 計 画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|-------------|------------------|
|             |                  |

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

学校教育実践高度化専攻運営委員会、教務委員会、学生生活委員会、実習検討委員会、実習免除審査委員会、特別審査委員会、学生サポート・プロジェクト運営委員会

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学校教育実践高度化専攻運営委員会（原則第2月曜日；平成29年度は10回 専任教員14名、研究科長、事務3名）

教務委員会（原則第1火曜日；平成29年度は10回 教員5名、事務1名）

学生生活委員会（不定期；平成29年度は10回 教員5名、事務1名）

実習検討委員会（原則第1火曜日；平成29年度は17回 教員6名、事務1名）

実習免除審査委員会（年1回；平成29年度は開催されず 教員3名、事務1名）

特別審査委員会（年1回；平成29年度は1回 教員5名、事務1名）、

学校サポート・プロジェクト運営委員会（不定期；平成29年度は5回 教員5名）

#### c 委員会の審議事項等

専攻運営委員会（各種委員会から上がってきた審議事項の審議、報告、上位の会議体からの検討依頼の審議等）

教務委員会（教務日程、教育課程、学生指導体制や成績評価、入試（広報）業務、ICT管理、学生異動の審議等）

学生生活委員会（教採等の学生支援、在学生及び卒業生への各種調査、奨学金獲得・免除申請、FD推進等）

実習検討委員会（実習計画、実習指導体制、実習校との交渉・協議の計画立案等）

実習免除審査委員会（高度化実践実習Ⅰ、重点領域実践実習Ⅰの免除審査）

特別審査委員会（高度化実践実習Ⅱの免除審査）

学校サポート・プロジェクト運営委員会（教育委員会や学校が行う研究・研修を継続的に支援）

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・ 各授業資料のファイル共有、授業や実習スケジュール管理についての検討
- ・ 授業方法についての検討
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ FD座談会（2月22日開催；教職大学院学生と教員スタッフがFDについて話し合う）

- b 実施方法
  - ・ スタッフによるミーティング（教職大学院FD会議）、担当外の授業への自由参加
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
  - ・ FD会議（原則毎週木曜日；平成29年度は40回；出張や授業のある教員以外全員参加）
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
  - ・ 授業方法についての検討や教員相互の授業参観を通して、教員相互が多様な授業方法を学んでいる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・ 各タームで計4回実施（6月、8月、11月、2月）
  - b 教員や学生への公開状況、方法等
    - ・ 専任教員は随時、担当外の授業を参観できるように公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### （3）自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 

既設置の「鹿児島大学教育学部と鹿児島県教育委員会との連携協議会」のもとに平成29年度に設置する「鹿児島大学教職大学院運営協議会」が、本学教職大学院の実践・研究に関する評価を実施する。この外部評価の基礎資料として毎年、本学大学院の「学校教育実践高度化専攻運営委員会」のもとで、自己点検・自己評価を行い、教育課程や事務運営などについて、すべての教員が責任をもって点検・評価・分析を行い、毎年、「年次報告書」の発行を予定している。
- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表（予定）時期
    - ・ 平成30年5月に、29年度の年次報告書として「中間成果報告書」を発行予定
  - b 公表方法
    - ・ 「年次報告書」のほか、HP等を通じて公表し、その一部は教職大学院研究発表大会で積極的に発信する。
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・ 平成32年度に評価機関（教員養成評価機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### （4）情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
  - a ホームページに公表の有無 ( ☒ 有 ) ・ ( ☐ 無 )
  - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 30 年 9 月 1 日 )

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻運営委員会規則

平成29年2月21日

教研規則 第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻運営委員会(以下「学校教育実践高度化専攻運営委員会」という。)の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 学校教育実践高度化専攻運営委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 研究科委員会に提案する議題の整理に関する事項
- (2) その他学校教育実践高度化専攻の運営に関し専攻長が必要と認める事項

(組織)

第3条 学校教育実践高度化専攻運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学校教育実践高度化専攻長
- (2) 主として学校教育実践高度化専攻を担当する専任教員
- (3) その他学校教育実践高度化専攻長が必要と認めた者

2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 前項の委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員の中から教務担当委員及び学生生活担当委員を選出する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、専攻長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 学校教育実践高度化専攻運営委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席委員の過半数でこれを決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。ただし、議決に加えることはできない。

(事務)

第7条 学校教育実践高度化専攻運営委員会の事務は、教育学部教務係が処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、学校教育実践高度化専攻運営委員会が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻教務委員会規則

平成 29 年 4 月 18 日

教研規則 第 10 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻教務委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教務日程・教育課程（カリキュラム）に関する事
- (2) 学生指導体制・成績評価等に関する事
- (3) 入試（広報）に関する事
- (4) ICT（e ポートフォリオ等）管理に関する事
- (5) 学生の異動（休学、退学、長期履修等）に関する事

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学校教育実践高度化専攻長（以下「専攻長」という。）が指名した専任教員 5 名
  - (2) その他専攻長が必要と認めた者
- 2 前項の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、前条第 1 項第 1 号の委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(代理出席)

第 6 条 委員が事故のため委員会に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第 8 条 委員会の事務は、教育学部教務係が処理する。

(雑則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 18 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 30 年 3 月 31 日までとする。

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻学生生活委員会規則

平成 29 年 4 月 18 日

教規則 第 11 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻学生生活委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 就職支援に関すること
- (2) 修了後のフォローアップに関すること
- (3) 各種アンケートに関すること
- (4) 奨学金獲得・免除申請に関すること
- (5) F D 推進に関すること

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学校教育実践高度化専攻長（以下「専攻長」という。）が指名した専任教員 5 名
  - (2) その他専攻長が必要と認めた者
- 2 前項の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、前条第 1 項第 1 号の委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(代理出席)

第 6 条 委員が事故のため委員会に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第 8 条 委員会の事務は、教育学部学生係が処理する。

(雑則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 18 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 30 年 3 月 31 日までとする。

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻実習検討委員会規則

平成 29 年 4 月 18 日

教研規則 第 12 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻実習検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 実習計画に関すること
- (2) 実習体制に関すること
- (3) 実習オリエンテーションの企画・実施に関すること
- (4) 実習校との交渉・協議の計画立案に関すること

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学校教育実践高度化専攻長（以下「専攻長」という。）が指名した専任教員 6 名
- (2) その他専攻長が必要と認めた者

2 前項の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、前条第 1 項第 1 号の委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第 5 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席により成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(代理出席)

第 6 条 委員が事故のため委員会に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第 8 条 委員会の事務は、教育学部学生係が処理する。

(雑則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 18 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 30 年 3 月 31 日までとする。



## 鹿児島大学教職大学院実習免除審査委員会規則

平成29年2月21日  
教研規則 第7号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻における教職経験を有する者に係る実習単位の免除に関する規則（平成29年教研規則第6号）第4条第2項に定める鹿児島大学教職大学院実習免除審査委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、高度化実践実習Ⅰ及び重点領域実践実習Ⅰの実習単位の免除について審議する。

(組織)

第3条 委員会は、学校教育実践高度化専攻専任教員のうち、研究科長から指名された者3名で組織する。

2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席委員の過半数でこれを決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、教育学部学生係が処理する。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

## 鹿児島大学教職大学院特別審査委員会規則

平成29年2月21日

教研規則 第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻における教職経験を有する者に係る実習単位の免除に関する規則（平成29年教研規則第6号）第4条第3項に定める鹿児島大学教職大学院特別審査委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、高度化実践実習Ⅱの実習単位の免除について審議する。

(組織)

第3条 委員会は、学校教育実践高度化専攻専任教員のうち、研究科長から指名された者5名で組織する。

2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席委員の過半数でこれを決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、教育学部学生係が処理する。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後、最初の委員の任期は、第3条第2項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

## 学校サポート・プロジェクト運営委員会要項

平成 29 年 12 月 11 日

専 攻 長 裁 定

### (趣旨)

第 1 この要項は、鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻(以下「教職大学院」という。)の教員スタッフが鹿児島県の市町村教育委員会及び学校が企画する取り組みを協働して実施する学校サポート・プロジェクト(以下「学校サポート・プロジェクト」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものである。

### (組織)

第 2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教職大学院の研究家教員から選出された委員 若干名
- (2) 教職大学院の実務家教員から選出された委員 若干名
- (3) その他委員会が必要と認める者

2 第 1 項第 1 号から第 3 号に規定する委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

### (審議事項)

第 3 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) サポートを行う教育委員会や学校の選定と提案に関すること
- (2) 第 1 号の教育委員会や学校との連絡調整に関すること
- (3) 学校サポート・プロジェクトの実施期間や実施内容等の審議に関すること
- (4) 学校サポート・プロジェクトの予算に関すること
- (5) 学校サポート・プロジェクトに係る成果報告書の企画・立案・依頼に関すること
- (6) その他学校サポート・プロジェクトに関すること

2 委員会は、審議結果を大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻運営委員会に上程し、審議あるいは報告するものとする。

### (委員長)

第 4 委員会に委員長を置き、教職大学院専攻長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

### (その他)

第 5 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この要項は、平成 29 年 12 月 11 日から実施する。